



えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.19
令和5年2月17日
文責：校長 福島

めざせ！ なわとび名人



学校では今、全校で縄跳びに取り組んでいます。体育の時間や休み時間に、自分のペースで縄跳びを楽しんでいます。青→緑→黄→ピンク、4種類の縄跳びカードを全学年で使い、自分のレベルに合わせて進級していきます。

私が出会った子供たちには、後にトップアスリートとして活躍した人がたくさんいますが、その人たちに共通するのは小学生の時縄跳びが上手だったということです。様々なスポーツの基礎となる「巧みに体を動かす感覚」が身についているのでしょう。小学校期は、感覚(神経)がもっとも発達する時期です。「運動神経がいい」というのは「多様な運動感覚を目覚めさせる」ことです。前跳びを10回も跳べなかった1年生が2週間後には100回以上跳び、自信にあふれる表情をしている姿を見るとうれしくなります。さらに、縄跳びは心の安定や脳の発達にもいい影響があると言われます。

このように優れた運動である縄跳びの日常化を目指して、学校運営協議会体育成部により、縄跳びカードに合わせた技の動画を作成しました。縄跳び普及に努めていらっしゃる小田知幸さんのご協力を得て、モデル演技を撮影しました。ホームページの「めざせ、縄跳びチャンピオン」のアイコンから視聴できます。縄跳びカードのダウンロードもできますので、親子で健康のため縄跳びに取り組んでみませんか。家庭での合格サインやシールもちろんokです。

私には、縄跳びブームにのっかったもう一つの楽しみがあります。それは、縄跳びの貸し出しです。校長室にはたくさんの縄跳びがあり、校長室に来れば貸し出しています。毎日数人が借りに来て、たわいのない話をします。「上手になっていますか?」「校長先生、今日二重とびができました!」「すごいねえ!!」「もっと上手になるよ。」持ってくるのを忘れたので借りに来る子もいますが、校長先生と話したいから借りに来る子がいてもいいと思っています。私が小学生の時の校長室といえば「とんでもないことをやっちゃって説教される部屋」というイメージがありました。「潤いのある学校の校長室はどうあるべきか」考えた結果の一つの答えです。「校長先生、サインください!」ほら、今日も楽しいお客さんがやって来ました。